

第2学年〇組 学級活動指導案

日 時 令和元年〇月〇日 (〇) 第〇校時

授業場所 2年〇組教室

授業者 〇〇 〇〇

生徒数 男子〇名 女子〇名 計〇名

1 議題

「学級目標に近づくための手立てを考えよう ～みんなで喜び合える企画を考えよう～」

(内容 (1) 学級や学校の生活づくり ア 学級や学校における諸問題の解決)

2 議題について

(1) 生徒の実態

(2) 議題選定の理由

本学級は、体育祭の全員リレーや応援合戦・合唱コンクールで一致団結することの大切さを学び、『う…嬉しいときはみんなで喜ぶクラス』の実現に迫ってきた。しかし、自分本位の考えで行動する生徒もあり、嬉しいときはみんなで喜ぶという気持ちになれない生徒も多い。「明日もまた学校にきたい」と思える人間関係を築きたいと話し合いを行い、学級全体で学級目標の『う…嬉しいときはみんなで喜ぶクラス』を意識して学校生活を過ごそうということになった。

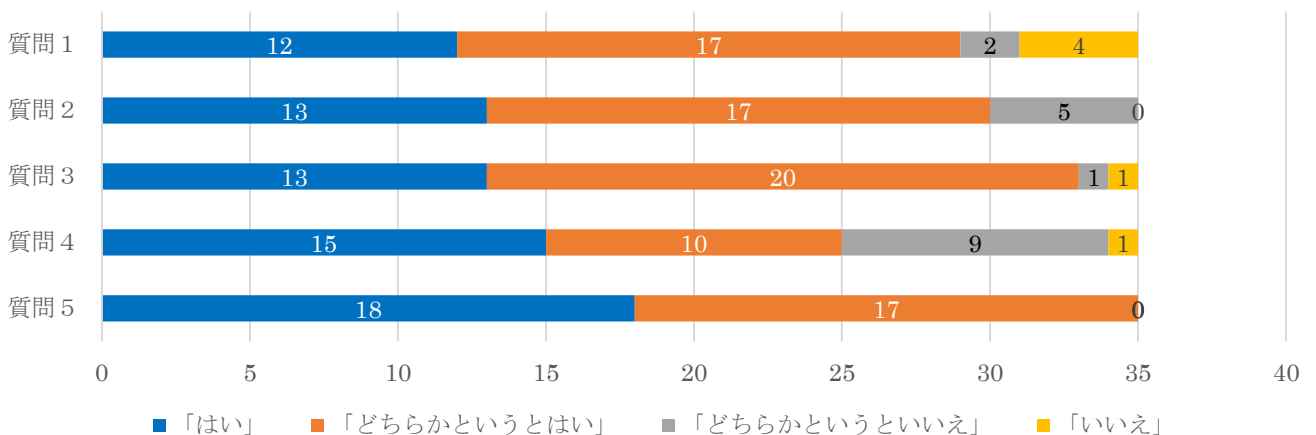
以下のアンケートの結果より、全体的に肯定的な意見が多く現在のクラスで楽しく過ごしている生徒が多いが、クラスを何とかしたいという意見も聞かれた。思春期真っただ中で、学校だけでなく家庭でも反抗期を迎えていることの多い中学2年生のこの時期だからこそ、自他を認め尊重し合える関係を築き、お互いに支え合って成長してほしい。そのために何事も勇気をもって取り組み、みんなで喜びを分かち合い、最後まであきらめない姿勢をクラス全員が身につけてほしい。みんなで話し合いみんなで決めた学級目標達成に近づくために、具体的な手立てをクラス全員で話し合い、一層団結力を深めてほしいと考えて本議題を設定した。

< 2年〇組 学級会アンケート結果 > (令和元年〇月〇日 男子〇名・女子〇名) 〇名欠席

4 「はい」 3 「どちらかというとはい」 2 「どちらかというといいえ」 1 「いいえ」

2学期 学級会話し合いアンケート結果					
質問1 話し合い活動では、自分の想いや考えを積極的に発表していますか。		4	3	2	1
		12	17	2	4
理	<ul style="list-style-type: none"> 前よりも、みんなの前で意見を言えるようになったから。 会議だと話しやすい。 				
由	<ul style="list-style-type: none"> 司会から指名されて答えることが多いから。 これまで1回しか発表できていない。 				
質問2 2年〇組は、学級の問題や課題をみんなで協力して解決しようとしていますか。		4	3	2	1
		13	17	5	0
理	<ul style="list-style-type: none"> 私語が多く、話し合いに参加していない人がいるように思う。 いざという時は、全員が一つのことについて真剣に考える。 				
由	<ul style="list-style-type: none"> 先生に注意された後、みんな何が悪かったかをしっかり振り返ることができる。 挙手をして発言することが少ない。「絶対無理」とあきらめる人がいる。 				
質問3 学級目標『ゆ…勇気をもって頑張るクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		13	20	1	1
理	<ul style="list-style-type: none"> 参加している人とそうでない人がいる。 難しい課題にも自力で考える生徒がいるので、頑張っていると思う。 				
由					
質問4 学級目標『う…嬉しいときはみんなで喜ぶクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		15	10	9	1
理	<ul style="list-style-type: none"> まだ「自分だけよければいい」という考えがよく見られる。 体育祭で、異様に盛り上がりみんなで喜び合った。 				
由	<ul style="list-style-type: none"> ダメだと思う。 				
質問5 学級目標『き…希望を胸に最後まであきらめないクラス』は、現状達成できていますか。		4	3	2	1
		18	17	0	0
理	<ul style="list-style-type: none"> 粘り強く、考えて行動していると思います。 あきらめないでやるのは、〇組のいいところです。 				
由					

2年組 アンケート結果



3 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団、社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間関係や生活上の様々な諸問題について、生徒一人一人が集団の一員としての自覚と責任感に基づき、協力して解決していこうとしている。	絆を深める場について考え、諸問題の解決のために役割を分担し合って進め実践している。	学級や学校生活の充実・向上にむけて、グループや全体での話し合い、討論などによって解決する仕方を理解している。

4 事前の活動

月日	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
10月18日(金)	学活 →放課後	・学級活動委員選出→会議	・学級活動委員を決める。
10月21日(月)	学級活動委員会	・アンケートの作成	・生徒が主体となって取り組めるようにする。
10月22日(火)	朝の会	・アンケートの実施	・自分のクラスの現状をふり返らせる。 ・学級目標の達成度を把握する。 【関心・意欲・態度】 ◎クラスの現状について真剣に向き合い、考えることができる。
10月22日(火)	昼休み	・アンケートの集計、議題の選定	・選定後、学級全員に確認をする。
10月28日(月)	朝の会后	・提案理由、原案を練り上げる。 ・活動計画を立て話し合いの柱を検討する。	・提案理由は、学級の現状を把握し話し合い活動のよりどころとなるよう指導する。 ・生徒の想いを聴きながら話し合い活動の流れを検討する 【関心・意欲・態度】 ◎話し合い活動が深まるよう、自主的・実践的に準備をすすめている。【観察】
10月29日(火)	朝の会后	・提案理由を練り上げ、柱立てを考える。 ・活動計画を立て話し合いの柱を検討する。	・提案理由は、学級目標によりどころを求められるよう指導する ・生徒の想いを聴きながら柱立て等を検討する 【関心・意欲・態度】 ◎話し合い活動が深まるよう、自主的・実践的に準備をすすめている。【観察】

11月1日(金)	帰りの会	<ul style="list-style-type: none"> ・議題、提案理由、話し合いの柱の発表 ・自分の意見を学級活動カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予め本時の柱を周知し、目的意識をもつよう指導する。
11月11日(月)	放課後	<ul style="list-style-type: none"> ・司会指導 ・リハーサル 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒から出てきた意見を整理し、学級会の流れをつかみ、発表できるようにする。

5 本時のねらい

ア 議題『学級目標に近づくための手立てを考えよう ～みんなで喜び合える企画を考えよう～。』

- 学級目標と自分たちの取組を照らし合わせながら今までの学校生活を振り返ることを通して、自分たちの姿をさらに高めたいという仲間の思いに気づく。
- 話し合い活動を通じて、実践に向けての意欲を持つことができる。

6 展開

	活動の内容	指導の留意点 ◎目指す生徒の姿 (評価の観点)	資料等 【評価方法】
活動の開始	1 開会の言葉 2 学級活動委員の紹介 3 議題の発表 4 提案理由発表	<ul style="list-style-type: none"> ・隊形はコの字型。班でまとまるよう、できるだけ中央に寄るよう指導する。 ・司会は、「学級会のすすめ方」のシナリオに沿ってすすめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>議題 「学級目標に近づくための手立てを考えよう ～みんなで喜び合える企画を考えよう～」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学級会カード ・司会マニュアル ・記録用紙 ・移動用ホワイトボード
	<p>【提案理由】 ※提案者：◎◎さん</p> <p>2年〇組がスタートして、半年が過ぎました。合唱コンクールを終えて、学級目標の『う…嬉しいときは、みんなで喜び合うクラス』の実現に向けて頑張ってきました。しかし、まだ自分本位な言動もよく見られ、先日取ったアンケートの結果から、『う…嬉しいときは、みんなで喜び合うクラス』をまだ達成できていない現状にあります。よりよい人間関係を築いていく必要があると私は考え、学級目標の『う…嬉しいときは、みんなで喜び合うクラス』を意識して生活するために、みんなで喜べる企画を考え実践することで、よりお互いの仲が深まっていき、自分本位な言動も少なくなっていくと考え提案しました。</p>		
	5 話し合いのめあて 6 話し合い (1) 柱1 何をするか考えよう (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級目標と自分たちの取組を照らし合わせながら今までの学校生活を振り返ることを通して、自分たちの姿をさらに高めたいという仲間の思いに気づく。 ○ 話し合い活動を通じて、実践に向けての意欲を持つことができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の3段階討議法を用いる。 ・事前に自分の意見を書かせ、自信をもって発言できるようにする。 ・話し合いが停滞したとき、自分の意見を深化させるために、小集団での意見交換をする。 ・意見が割れた場合、意見交換が十分されたとなれば多数決で決める場合もある。 	<p>提案理由をもとに、学級の成長のためにしっかりと話し合いに参加しようとしている。【関心・意欲・態度（観察・シート）】</p> <p>本時の活動に意欲的に取り組もうとしている。【関心】（観察）</p>

活動の展開	(2) 柱2 みんなで喜び合える工夫や配慮すべきことを考えよう (25分)	<p>予想される意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体の気持ちが一つになるレクレーションをする といいと思います。 ・今日の MVP の発表を、帰りの会で行うとよいと思います。 ・以下の場合、教師が必要に応じて指導・助言を加える。 <p>○話し合いが本筋から逸脱しているとき。意見が出すぎて集約できないとき。少数意見があまりにも尊重されないとき。</p> <p>○時間配分が計画からずれているとき。結論を急ぎすぎているとき。</p> <p>○特定の生徒が攻撃されたり、人権上問題のある発言があったとき。</p> <p>○自治的活動の範囲外になっていることに気付かないとき。</p>	<p>学級や学校生活の充実・向上に向けて、グループや全体での話し合い、討論などによって解決する仕方を理解している。</p> <p>【知識・理解】(観察)</p>
	活動のまとめ	<p>7 決定事項の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団決定されたことを確認し、具体的に自分ができることについて考えさせる。 <p>8 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案理由やめあてについて、相手の意見を認めたり、工夫した意見や学級の成長につながる意見を出したりした生徒を賞賛する。 <p>9 教師の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡潔にまとめる。 	<p>学級会で決まったことを自分なりに受け止めて、取り組もうとしている。</p> <p>【思考・判断・実践】 (学級会カード)</p>

7 事後の活動

月日	活動の場	活動の内容	・指導上の留意点 ◎目指す生徒の姿と評価方法
11月18日(月)	昼休み	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを可視化するための掲示物を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・決まったことを常に意識させる。
12月中旬	学活	2学期の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・決定事項を意識して生活できたかを、アンケートや班の生活ファイルを用いて確認する。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>話し合い活動が深まるように、自分自身やクラス全体の様子をふり返ろうとしている。</p>

8 板書計画

話し合いのルール

- 一、人の意見は最後まで聞く。
- 一、挙手をし、根拠（理由）をつけて発表する。
- 一、反対する時は、より良くなるような意見を言う。
- 一、小数の意見も生かすことができるように考える。
- 一、“自分もよい、みんなもよい”と思える話し合いで集団決定し、みんなで実行する。

